



松の葉は吹くともれ菴の
老ののこる由 鼎多

むらゝるおんかたは
夏にこそ金 去價

六二章
東山の空に

何れ海はいづれ
出るあり雲の暮

故聴

張る身の乾きも
何れ葉

夏の月

棋竹

夏日後 雲よ
まよと入きて

摘菜やいづれ
いづれ日か竹朋

江氏

左ニ章
湘西の人

空は下を 秋
花卯木 兼夫

涼風や松の根

何れ婦 浪り

籠山

